

効果
EFFECTS

ヒヤリハットの発生件数が大幅に減少し、その有効性が確認されています

総インシデント(ヒヤリハット)発生件数



※当社モデル営業所実績

導入事例
CASE STUDY

ドライバーの健康や安全管理に対して、課題を抱えていた多くのお客様に導入いただいております。実際の効果について、コメントをいただきました。

株式会社大運組様



- 運転時、心の余裕ができた
- 自分の健康を意識するようになった

丸新運輸株式会社様



- どこにいても、全国のドライバーの状況が分かる
- データや動画をもとに、説得力のある指導ができる



効率化

Smart

業務効率向上
法令遵守



安全

Safety

安全運行管理
事故ゼロの社会



車両管理

Vehicle

車両整備の最適化
故障予兆・予防整備

Safetyに関する問い合わせはこちら

オンライン個別相談会
の申し込みはこちら



SSCV紹介動画



オフィシャルWebサイト

ドライバーの安全に寄り添う

すべての運ぶに安全を

SSCV
Smart & Safety Connected Vehicle

Safety



3つの
ポイント

SSCV-Safetyは、ドライバーの健康と安全を同時に見守り、事故リスクを予測することができる、唯一無二のソリューションです。

健康と安全を
見守る

事故リスクを
予測

精度と
使い勝手

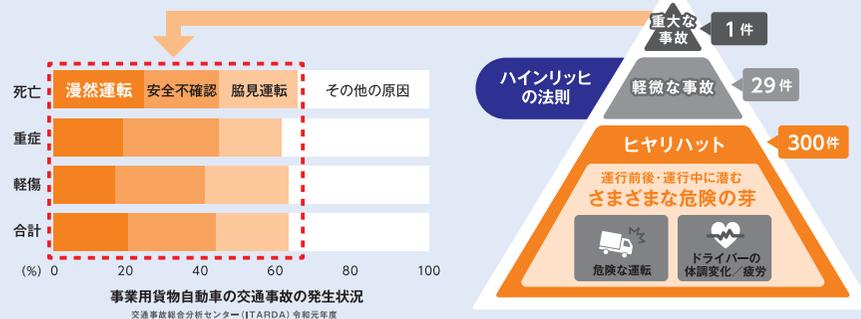


SSCV Safety はドライバーを守り、すべての事業者に「安全」を届ける

IoTとAIテクノロジーでドライバーの健康と安全を見守り、運行管理をDXすることで法令遵守と業務効率化を後押しする「事故とリスクを未然に防ぐ」ことを徹底的に追求した、安全運行管理ソリューションです

コンセプト
CONCEPT

安全運行の実現にはドライバーの「疲労状態の把握と健康管理」が重要で、健康状態に起因し、重大事故につながる「漫然運転」をなくすためにヒヤリハットをすべて可視化することをコンセプトに、事故リスク予測アルゴリズムを開発



運行管理支援

輸送事業者に求められる法令遵守と、安全に関する業務の効率化を実現し、運行管理業務全体のDXを支援する機能を提供

デジタル点呼簿
(人の健康)

紙の点呼簿をデジタル化し、アルコール検知器での測定値を自動反映、体調総合判定や事故リスクに関して連携されたデータを見ながら点呼が可能

デジタル日常点検表
(車の健康)

ドライバーによる車両の日常点検をスマートフォンやタブレットで行い、デジタル点呼簿と連携して点検記録ができる

デジタル労務管理
(JICONAX)

ドライバーの労働時間管理・安全管理支援クラウド「JICONAX」を導入し、デジタコと連動して走行実績を取得、正確な労働時間算出が可能

連携

安全支援

1. ドライバー向けの体調測定と、管理者向けのダッシュボード機能が連動し、リアルタイムで事故につながるヒヤリハットと疲労状態を検知
2. 車間距離不足、急制動、一時不停止、脇見などの事象および疲労状態をリアルタイムにドライバーへ直接音声通知※1
3. データを一元管理し可視化することにより、事故を未然に防ぐだけでなく、運行後の振り返りも可能 ※1 ドラレコの機種によって通知するヒヤリハットイベントは異なります

予測する — 先回した危険抑制 —

ドライバー向け

POINT ドライバーの疲労状態を測定

付属デバイス ※2

- 体温計
- 血中酸素濃度計
- 血圧計
- 自律神経計

管理者向け

POINT ドライバー個人ごとの体調や疲労状態を把握

- 体調総合判定: その日のドライバーの体調を判定し可視化
- ヒヤリハット予測: 疲労レベルを計測し、独自アルゴリズムでその日のヒヤリハット発生を予測
- ヒヤリハットマップ

※2 付属デバイスの構成は変更になる可能性があります

見守る — 運行中の危険把握と警告 —

POINT 車の走行状況、ドライバーの疲労レベルを捕捉し、危険運転や疲労状態を検知

付属デバイス ※2

- IoTドラレコ
- IoTボタン
- バンド型デバイス

危険走行注意喚起: 危険運転、危険状態など発生した際にその場でお知らせ

POINT ドライバーに迫る危険状況をメール通知、全車両の位置と全ドライバーの疲労レベル把握も可能

管理者向け有事情報通知: 危険情報と対象イベント・位置・動画を通知

車両位置・疲労レベル見守り: 最新の交通情報とあわせて車両位置とドライバーの疲労レベルを表示

振り返る — 運転の評価と改善支援 —

POINT 運行の軌跡とともに、ヒヤリハットとして自動で切り出された動画で振り返り、評価・記録をすることも可能

- 運行ルート: 運行の軌跡および、危険な状況が発生した箇所を表示
- 危険運転動画: 自動で検知されたショート動画を簡単に確認
- 運転評価コメント入力: ヒヤリハットごとに評価内容を記録でき、確認状況も表示